



阿南高専便り

テニス部・水泳部・陸上部、全国大会で大躍進!

陸上部 全国高等専門学校体育大会



テニス部 全国高等専門学校体育大会 2連覇



水泳部
全国高等専門学校体育大会

CONTENTS

校長あいさつ・	
第29回全国高専プログラミングコンテストへの挑戦	p 2
機械コース便り	p 3
電気コース便り	p 4
情報コース便り	p 5
建設コース便り	p 6
化学コース便り	p 7
専攻科便り	p 8
学寮から・国際交流室便り	p 9
部活動報告	p10
平成30年度前期の行事報告	p12
蒼阿祭案内・学生の言葉～3年生より～	p13
図書館便り	p14
平成30年度後学期行事予定表・	p16
学生相談室から・編集後記	

**ITの未来は
ここにあるでないで!**

全国高等専門学校
第29回
**プログラミング
コンテスト**

【あるでないで】
副賞は「あるじやないか」
の旗。

本選
平成30年10月27日(土)～10月28日(日)
アスティとくしま (徳島県徳島市山城町新清原1-1-1)

入場
無料

開催部門

- (1) 課題部門 「ICTを活用した地域活性化」をテーマにした作品
- (2) 自由部門 自由なテーマで独創的な作品
- (3) 競技部門 与えられたルールによる対戦戦

開催イベント

- 学生・企業交流企画
- 競技クイズ
- 阿南祭り
- 阿南高専の未来を語る会

阿南工業高等専門学校

主催 阿南工業高等専門学校
協賛 阿南工業高等専門学校
後援 阿南工業高等専門学校

問い合わせ先
阿南工業高等専門学校
〒770-8501 徳島県徳島市山城町新清原1-1-1
TEL 0874-23-7100
FAX 0874-23-7101
E-MAIL info@anac.ac.jp
WEB <http://www.procon.gr.jp/>
Twitter @anacprocon
Facebook anacprocon
Instagram anacprocon

阿南工業高等専門学校

開催日 平成30年10月27日(土)～28日(日)
開催場所 アスティとくしま

校長あいさつ 阿南高専生の未来はここにあるでないで

校長 寺 沢 計 二

10月27、28日の両日、アスティとくしまで第29回全国高等専門学校プログラミングコンテスト（高専プロコン）が開催されます。このプロコンは、全国の高専生がプログラミングのアイデアや腕前を競う大会で、今年度は本校が主管校となり、阿南高専の学生、教職員を挙げて開催準備が着々と進んでいます。今年のキャッチフレーズは、「ITの未来はここにあるでないで」。

スマホに代表されるIT技術の急進展に加え、ありとあらゆるモノがネットに繋がるIoTや人工知能といった大きな社会変革をもたらすイノベーションへの期待を背景に、高度なプログラミングの知識やスキルをもち、ものづくりなどの現場技術にも長けた全国の高専生が集まる高専プロコンは、近年、IT業界にとどまらずあらゆる業界からも熱い視線が注がれつつあります。

プログラミングに関しては、技術系業種はもとより金融、流通などいわゆる「文系」業種まで含めてその知識は今や不可欠になりつつあり、2020年から小学校でもプログラミング教育が必修化されることが決まっています。

阿南高専では、全国の高専に先駆けて学内の学修支援システム「manaba」の整備が進んでおり、スマホやPCの日々の学修への活用、たとえばレポートの出題、提出や連絡事項、学生各人の学修状況の把握がいつでもどこでも行えるなど、すべての学生が日常的にIT技術に触れ、これを活用、駆使する環境が整えられています。また、今年度中に3つめの電子黒板などを備えたアクティブラーニング教室の整備が決まっています。

しかしながら、これからの技術者にとって本当に何よりも大事なものは、こうしたハード、インフラの整備だけでなく、人工知能に「使われる」だけにならないための人間力。

その点、阿南高専は人間力を鍛える教育に一貫して取り組んできました。

幅広い視野をもち分野横断・融合技術に強い技術者を育てる一学科体制の導入。運動・文化系を問わず盛んなクラブ活動。「楽しいけれどちょっと厳しい」集団生活を通じて社会性やコミュニケーション力を育てる学寮。異なる文化や考え方に自ら触れ、経験する機会を得る留学や国際交流。

そして10月27、28日の高専プロコン。

参加チームの学生、関連イベント、サポートスタッフと、多くの阿南高専生が未来に向かって力を合わせる姿をぜひ見にいらして下さい。

第29回全国高専プログラミングコンテストへの挑戦

プログラミング同好会顧問 吉 田 晋

競技フィールド

司令塔 	-2	1	0	1	2	0	2	1	0	1	-2	司令塔 
	1	3	2	-2	0	1	0	-2	2	2	1	
	1	3	2	1	0	-2	0	1	2	3	1	
	2	1	1	2	2	3	2	2	1	1	2	
	2	1	1	2	2	3	2	2	1	1	2	
	1	3	2	1	0	-2	0	1	2	3	1	
	1	3	2	-2	0	1	0	-2	2	2	1	
	-2	1	0	1	2	0	2	1	0	1	-2	



▲H29年度プログラミングコンテスト企業賞（日立、富士通）受賞

今年（H30年）の全国高専プロコンは、10月27～28日、阿南高専主管で、徳島市のアスティとくしまで開催されます。本校は課題部門で2案、自由部門で1案が予選通過し、競技部門と3部門4チームが出場します。昨年度は、本校は課題部門と自由部門の両方で各1チームが企業賞を受賞する活躍でした。プログラミング同好会として学生達は、地元徳島開催での入賞を目指してがんばっています。

今年の課題部門は「ICTを活用した地域活性化」がテーマで、本校は星空をテーマにした「StarGallery～素敵な星空を見に行こう～」と、自然の山道を活かしたイベント支援システム「やまおくのほそみち～見張り灯籠で安心安全～」の2つのシステムで臨みます。自由部門では、農家向け環境センサ活用システム「サーモマイスター IoTでハウス換気判断支援」を開発中です。これら3システムで入賞を目指して、学生達はがんばっています。

今年の競技部門は、広い会場を活かしたフィールド上での占有陣地ポイントを競う陣取りゲームです。1チームは3名で、1名が司令塔となって戦術をプログラムで判断し、フィールド上の2名にカードやサインで、相手に分からないように指示して、より多くのポイントを獲得するゲームで、会場で見ている方も楽しめる競技となっています。参加する学生は、今年こそ決勝進出と優勝を目指して開発を行っています。地元開催ですので、多くの方に見に来ていただき、参加学生を激励していただけたらと思います。

機械コース便り

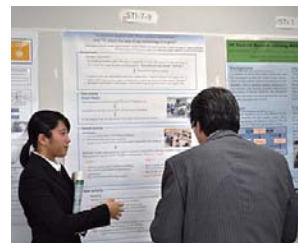
機械コース主任 原野 智 哉

本年度も機械コース主任を務めます原野です。よろしくお願いいたします。1学科コース制が導入され5年が経過しました。コース横断的授業の4年「共同教育」科目が開始されて1年が経過し、その他の情報系授業や力学系授業なども共通科目として実施し、学生が俯瞰的な視点を有するよう副専門科目の配置などの見直しを実施する時期になりました。また、業務の効率化を実施し教員の負担を軽減して最大の教育・研究効果を発揮できる高等教育機関として生まれ変わろうと鋭意一丸となって努力しています。ということかと申しますと、教育内容・方法がほとんど変わらない時代から、教育内容・方法を変革する時代に変化し、教育と効果が時間のみの関数ではなく、教育内容自体が変数化し、どのように教育をすれば最大の効果が生じるのかについて、常に考えて仕事をしなければならない時代になったということです。この問題は、第4次産業革命に伴い単純労働がAIやロボットに置き換わり新たな付加価値を生み出すことにより、対価が支払われる時代になり、時間の長短による対価ではなく、高い生産効率による対価を求められるようになってきたということです。機械コースでも従来の四力学や機械工作実習にとどまらず、情報やIoT技術を絡めたメカトロニクスやロボティクスの教育課程をより高度に含める必要性が高まっていると感じています。機械コースでは、現在3～4年生でライトレースロボット基礎実習、ライトレースロボット応用制御実習を導入したところですが、新たにものづくり工学でもメカトロニクス実習を導入する予定です。

卒業研究でもArduino Uno（アールディーノ・ウノ）などを用い、メカトロニクスを含めた制御機械を農業や漁業へ展開する取り組みが増加しています。3Dプリンタを活用したドローンのプロペラの最適化、ビニールハウス内の環境測定や果実・野菜の生育測定とドローンを活用した農薬散布、メカトロニクスを活用したスマート漁業を実現するために夜間にLEDを点灯し集魚を効率化するマリンプイや無人マリンドローン、レンコン畑の鴨による食害の防止を図るための水上移動ロボットの開発などが取り組まれています。昨年から機械コースでは材料分野、制御流体分野の2つの専門分野に教員を振り分け、本年度からは主任裁量経費により予算を配分し共同研究を推進し研究業績を増進する取り組みを

スタートしています。2017年は日本機械学会デザインコンテストに授業の一環で機械工学科3年生全員が作品を応募し、3名が奨励賞を受賞（3年連続受賞）しています。学協会での発表では長岡技科大2nd STI-GIGAKU2017 Conferenceや第23回高専シンポジウムではベストポスター賞やポスター発表賞を獲得するなど学生が素晴らしい活躍をしています。今年度も共同教育等で、四国キャンパスベンチャーグランプリへの申請や各学会において卒業研究内容を講演発表する予定です。また、新たに2年生から研修旅行を開始し、キュービーや森永乳業、3Dプリンタ造形をオーダーメイドする八十島プロシードの工場見学をはじめ、神戸国際展示場で産業メッセに行く予定です。

現5年生の就職と進学は本年度も順調に進んでいます。とくに就職は極端な売り手市場が続き、企業は高専生の採用が極めて困難な状況で、インターンシップの勧誘のためだけに来校する企業もある状況です。今後、2～3年生での工場見学旅行やコアオプ教育での就業がキャリア形成によりいっそう重要となっています。5年生は40名が在籍し就職内々定は県内7名、県外21名、進学は予定者を含み専攻科9名、大学3年次編入が7名の合格となり、進学先未定者は残り1名となりました。



▲長岡技大2nd STI-GIGAKU Best Poster Award



▲機械コース3年生 工場見学旅行

進学 5年生のコメント

5M 大戸 璃 玖

とても魅力的だと思います。しかし、私は進学という道を選びました。ではなぜ、進学という道を選んだのか。

大きな理由として、自分が何をしたいのかははっきりわからなかった、無知な私を感じたからです。自分や世の中について知らないまま大きな可能性が広がる人生を固定化したくないと感じました。もっと深く機械工学について学び、様々なことに挑戦し、興味の幅を広げ、自分は何が好きで何が嫌いなのか？自分自身について考える時間が欲しいと思いました。そして進学先として東京農工大学を選びました。今まで誰も進学しておらず、情報は少なく不安でしたが、阿南高専生第1号の入学生になる事ができました。

私が東京農工大学を選んだ理由は2つ。自分が学びたいと思っている自動運転研究が最も活発であった事。Smart Mobility Research Centerで国立大学や企業と共同でたくさんの研究をしています。2つめに東京だから。世界で最も人口密度が高く、様々な機会を提供してくれる都市です。目についたチャンス全てハングリーに挑戦し、多くの失敗といくつかの成功を通じて成長したいと考えています。

私が、後輩に伝えたいことは『意識して生きる』です。何を成すために今これをしているのか？時には少し立ち止まって考えて欲しいです。そして、人生のターニングポイントぐらいは大きく立ち止まり、自分と向き合っていて欲しいです。

今年の就職求人倍率は過去類を見ないほど高く、企業からの評価は年々高まっています。大企業への内定も多く、就職するにはもってこい！と

就職 5年生のコメント

5M 高橋 里 帆

私は、株式会社ナリス化粧品に就職します。私は製造業に興味があり、インターンシップでは他の化粧品会社で経験を積みました。就職活動ではこれらの技術と、高専で学んだ機械設備の知識や技術、そして自分の希望を叶えられる企業を探しました。

就職先を決めるにあたって、今まで沢山悩み、考えました。自分の人生の中でとても大きな選択だと思います。自分はどういったことが好きで、何が向いているのか、そういったことで多くの人が就職先を決めて行くかと思います。でも正直、そんなこと自分でもわからないです。

もし私が普通科に通う高校生だったなら今でもわからなかったと思います。しかし、高専では1年生のときから嫌でも就職のことを考えさせられます。自分の将来が心配だった私は、先生に将来を考えさせられる度に多く考え、悩んでいました。進学か就職か？進学したらその先の就職先は？就職するなら自分には何が向いているのか？県内で就職するか県外ですか…若い頃から沢山自分と向き合ってきたことで、自分というものを考える力がついたのだと思います。高専生活で出した答えを総まとめにすることで、就職先を決められたと思っています。

悩むことがつらいときもありましたが、今思えば悩んでおいて良かったなあと本当に思います。高専に来て良かったと思える1番のことがそれです。

ゆっくり自分というものを考えて多く悩んでください！

進学(合格)先

阿南高専専攻科(9)、豊橋技術科学大学(2)、長岡技術科学大学、東京農工大学(2)、佐賀大学、熊本大学

就職先

県内：大塚テクノ(株)、(株)大塚製菓工場、日亜化学工業(株)(3)、大鵬薬品工業(株)(2)
県外：四国電力(株)(2)、DMG森精機(株)(2)、関西電力(株)、森永乳業(株)神戸工場、(株)西島製作所、出光興産(株)、JXTGエネルギー(株)、(株)椿本チエイン、SUBARUテクノ(株)(2)、(株)ナリス化粧品、東京都下水道サービス(株)、(株)イズミフードマシナリ、花王(株)、サントリービール(株)、大阪ガス(株)、(株)SUBARU、中部電力(株)、神鋼テクノ(株)

電気コース便り

電気コース主任 松本高志

電気コース主任を務めております松本です。よろしくお願いいたします。

今年度は、電気棟改修工事が終了して2年目を迎えました。実験室にもホワイトボードウォールやインタラクティブ対応のプロジェクトを設置し、効果的な授業展開、学生が自ら学びやすい環境をうまく使いこなせています。最近の新たな取り組みをご紹介します。4月から旧5E教室をInnovation Lab.とし、新しい実験実習スペースやディスカッションスペースとして活用しています。実験実習の内容も新たにIoTに関連するテーマを取り入れ、これからの時代に即したものに改編しています。また、学年の枠を超えて構成したグループによる課題解決型実習のイノベーション実習を開始しました。学生たちが自ら考えて行動できるようになり、予想以上の様々な成果が確認されています。研修旅行として、4年生に加えて3年生も1泊2日で京都方面への工場見学を実施しました。インターンシップを前



▲3E研修旅行

進学 5年生のコメント

5E 吉田太一

思います。実際に私のクラスの半分以上は就職します。そこで、なぜ私が進学しようと思ったかと言うと、今まで学んだ専門知識をより深めることで、技術者として成長できると思ったからです。

進学先である豊橋技術科学大学は、高専生のための大学であり、毎年全国から多くの高専生が進学します。学習面においては、独自の学びスタイルである“らせん型教育”をベースに、効率的に知識を深めることができます。サポート面では、授業料免除制度や留学制度、長期インターンシップ制度が充実しており、学生のことを第一に考えています。そして、何より同じ高専出身者が多くいるので、アットホームな環境で学生生活が送れると思っています。このような環境で勉強できることは、自分の将来に必ずプラスになると思うので、今からとてもわくわくしています。

私は進学という道を選びましたが、就職を選ばれる方も多いと思います。どちらが正解ということはありません。自分の努力次第で将来はどのようにも変えることができます。1～4年生の皆さんは高専という何でも挑戦できる環境を存分に利用してほしいと思います。そして、自分が選んだ道が間違っていないかと思うように頑張ってください！応援しています！

本科卒業後、私は豊橋技術科学大学に進学します。一般的に、高専は就職に強いというイメージがあると思



▲5E体育大会

に大きな刺激を受けて帰ってきました。

次に、5年生の進路についてご報告いたします。今年度の5年生は17名が就職希望、7名が進学希望です。就職試験の6月解禁が定着し、8月上旬の執筆時において就職希望者は全員が内々定をいただいています。電気コースに対する求人企業数は640社以上あり学生にとって有利な状況が続いています。一方、進学予定者は専攻科、豊橋技術科学大学に全員合格しました。今年も専攻科に人気が集中し5名が進学予定です。

変化の激しい社会を生き抜く技術者を育成すべく、電気コース教職員一同で学生をサポートしていきます。今後とも、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

就職 5年生のコメント

5E 富士原千夏

私は入学当初から進学ではなく就職を希望していました。しかし、「この会社に行こう」と決めたのは5年になる年の春休みでした。就きたい業種は決めていましたが、どこの会社にするかはなかなか決められなかったからです。最終的にはその会社の雰囲気が決めた手になりました。私がインターンシップや見学に行った会社の中で、1番雰囲気が合っていると思ったからです。

どこの会社に行くか、どこの大学に行くか決めかねている人もいます。そんなときには、時間などが許す限り、興味を持った所へ行ってみるのもいいと思います。パンフレットを見たとしても、説明会へ行ったとしても、OBに話を聞いたとしても、それはあくまで他人の考えであり、自分に合うかどうかは実際に行ってみないとやはりわからないと思います。

1～4年の皆さんには就職か進学かを迷っている人もいますが、どちらにしても自分の目で行くということをお勧めします。後悔のない選択ができますように。

進学(合格)先

阿南高専専攻科(5)、豊橋技術科学大学(2)

就職先

県内：東亜合成(株)、藤崎電機(株)

県外：四国電力(株)、関西電力(株)、中部電力(株)、ABB日本ベレー(株)、JXTGエネルギー(株)(2)、(株)JALエンジニアリング、ANAラインメンテナンステクニクス(株)、サントリービール(株)、関西グリコ(株)、パナソニック(株)オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社、ダイキン工業(株)、ヤンマー(株)、(株)タダノ

情報コース便り

情報コース主任 杉 野 隆三郎

コース主任の杉野です。本年度はモデルコアカリキュラムによる授業が5年生で展開され、情報技術をベースにした阿南高専情報コースのラインナップがいよいよ完成いたします。さらに、全国高専プログラミングコンテストが本校主管にてアスティ徳島で開催されることになり、まさに高度情報化社会に貢献できるコース教育を作り上げるために、学生諸君と教職員が一丸となっておりま

す。進路状況ですが、情報技術者の採用意欲が高いこともあって8月現在、就職希望者のほぼ全員が内々定しております。本年度は純粋な情報系コースとして初の就職活動だったのですが、産業界の様々な分野で情報技術者を熱望していることから、ICT系企業はもろろのこと機械や電気等他の専門コースにまたがる企業からも内定をいただいております。

これからの日本は社会のグローバル化と人口減少に対応すべく情報技術の様々な分野で活用が重要になってきます。低学年の皆さんは、情報技術を核にした基礎学力の充実と部活や留学・インターンシップ体験に意欲的に取り組み、自分の将来像を描いてください。

大学編入ですが、情報専門カリキュラムが完成し、専攻科・徳島大学をはじめとして豊橋・長岡両技科大や電気通信大学、千葉大学等に合格するなど全員が進学先を確保しております、一部学生は難関大学突破を目指して頑張っています。皆さんも大学編入が優遇されている高専のメリットを活かし、情報技術の専門家を目指して進学も考えてください。学習面では、数学・英語を中心

にAIやIoTなど社会で使われている実践的技術に興味を持って取り組んでください。熱心に取り組めば必ず良い成果が得られると思います。

情報コースの研修旅行ですが、2年生の京コンピュータ見学と神戸研修、3年生の関西IT研修旅行、そして4年生の東京IT研修旅行のプログラムが完成し、学生諸君の学習成果を上げております。また、必修化されたインターンシップも県内にサテライトオフィスを構えるITベンチャーに派遣するなど情報コースならではの社会体験ができるようラインナップが整いつつあります。

来年度は10月末に、本校主管で開催される全国高専プログラミングコンテストに向けて情報コースの学生と教職員が様々な準備をしており、競技・課題・自由3部門の予選突破チームが4件という全国唯一のフルセット参加となり、プロコン熱は最高潮となってきました。情報コースでは、プロコンだけでなく学生の学外イベントへの積極的参加を推奨しており、学生がチームを組んで情報技術を用いた社会の様々な問題解決を提案し、また取り組みをプレゼンするというアクティブラーニングが実を結びつつあります。これからも「新産業の貢献できる人材を育成する情報コース」を目指して、教育の質を高めていきます。



▲東京ゲームショー参加(4年生研修旅行)



▲全国プロコンH29
(富士通・日立製作所企業賞ダブル受賞)



▲IT企業訪問
(東京内幸町JBSテクノロジー)



▲交換留学生研究発表会
(情報棟Computer Science Zone)

進学 5年生のコメント

5 I 平田 遼

私が大学編入を考え始めたのは3年生の頃でした。しかし、本格的に試験対策を始めたのは4年生が終わりうとしている時期で、かなり遅いです(この後ドイツへ1年留学したため、実質的には対策期間が長くなるわけですが)。

ここでは後輩の皆さん、特に進学希望の学生に向けてアドバイスします。まず、皆さんは将来どのような技術者・研究者になりたいか、具体的な理想を持っていますか。どこの大学に行きたいか、でも良いです。何の目標もなく漫然と勉強していても虚無がやってくるだけです。“絶対合格してやるからな”という信念があれば勉強に対するモチベーションも維持できますし、なにより自信が付くようになります。次に、編入試験の勉強を始める時期についてですが、行きたい大学があるなら、したい研究があるなら今から少しずつでも始めるべきだと思います。

志望大学の過去問に挑戦し、つまづいた所を先生や友人と相談するようにしましょう。問題を解いていると授業では習わないような内容が当然のように登場しますが、わからないのは当然です。“わからない”を“当たり前”に変えていくのが勉強の本質だと私は考えています。解けないからやめておこうではなく、解けるようになってやる!と強い意志を持つことが大事です。

みなさんの理想に向かって“PLUS ULTRA”の精神で壁を乗り越えていってください。成功を祈っています。

就職 5年生のコメント

5 I 中野 大成

私が就職先を決め始めたのは4年生の冬ごろ、本格的に就職活動を始めるといふ数ヶ月前のことです。3年生の頃から就職すると決めていた割には少し遅い立ち上がりでした。しかし、不思議と心配や不安はなく、しっかりと就職先を決めることができたと思っております。

みなさんは就職活動に不安はありますか?就職は人生での大きな分岐点となりますから、不安になるのは当然だと思います。しかし、すべきことさえしていれば心配することなどありません。それでは、「すべきこと」とは何でしょうか。それは、自分の自慢できるものをつくっておく、ということです。履歴書を書くときに、自己PRや特技の欄をすぐに埋めることができるでしょうか。私は低学年の頃からプログラムに興味があり、コンテストやハッカソンなど様々な課外での活動に力を入れてきました。技術面でも精神面でも成長することができ、面接などの就職試験も有利に運ぶことができたと感じています。他にも、最近はグローバル人材の育成に興味がある企業も多く、TOEICや留学経験などは強力なアピールポイントとなるでしょう。部活動でリーダーをしたり、趣味などでもいろいろな人と交流するなど真面目に取り組む、経験を生かすことができれば良い個性となります。就職試験だけでなく志望先を決める手掛かりにもなるでしょう。

今からでも遅くありません、なにか1つ、自分の自慢を見つめることをお勧めします。

進学(合格)先

阿南高専専攻科(4)、
徳島大学(2)、
千葉大学、
豊橋技術科学大学(3)、
電気通信大学

就職先

県内: 日亜化学工業(株)(2)
県外: アトラス情報サービス(株)、エムオーテックス(株)、奥村機械製作所(株)、京セラコミュニケーションシステム(株)(3)、コベルコソフトサービス(株)、サイバートラスト(株)、サントリープロダクツ(株)、(株)システムシンク、JBSテクノロジー(株)、(株)セリオ、(株)ソフトサービス、ダイハツ工業(株)、TOA(株)、パーソルR&D(株)(2)、(株)HAL、(株)富士通エフサス、(株)ミライト・テクノロジー、メタウォーター(株)

建設コース便り

建設コース主任 吉村 洋

本年度の建設コース主任を仰せつかりました吉村でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

まず、教員人事からご報告いたします。今春に池添純子先生が講師に昇格されました。また、長田健吾先生が、国立高等専門学校機構在外研究員として、米国コロラド州立大学に1年間、留学されています。さらに、川上周司先生が、高専・両技科大間教員交流制度によって、長岡技術科学大学に1年間、派遣されています。このような中でコース内の主な校務を挙げますと、堀井克章先生が4C担任と教務主事補、笹田修司先生が就職担当と3C副担任、松保重之先生が学生主事補、森山卓郎先生が3C担任、加藤研二先生が副寮務主事とインターンシップ担当、池添純子先生が5C担任と進学担当を、それぞれ担当しております。

建設コース1期生となる5年生の進路状況は、9月現在、



▲徳島県技術士会による出前講座

進学 5年生のコメント

5C 遠山 秀

私は創造技術工学科の1期生として入学しました。1年生の頃はコースに分かれておらず「ものづくり工学」の授業で5コース全ての専門分野を体験しました。その頃はどこのコースに進むかととても悩んでいました。建設コースを選択したきっかけは、ある先生に建設の魅力について聞いたことです。それは“この世にたった一つだけのものを造ることができる”ということでした。私は、自分が設計した構造物がこれから残っていくものとなることにとても惹かれました。

建設コースに入り、4年間様々な土木分野や建築分野を学ぶことができました。勉強だけでなく、建設コースだけの球技大会や研修旅行などイベントがたくさんありとても楽しかったです。

高学年になり、私は正直進路にとても悩んでいました。進学にするか就職にするかその時点でとても悩んでいました。最終的に進学に決めた理由は、高専卒と大卒では就職後の給料が違うこと、もう少し専門知識を身に付けたいことや、留学を経験したかったためです。進学先の中でも、なぜ専攻科に決めたのか。それは、大学院へ行かなければ進学してすぐに就職活動が始まります。他の大学に進み、慣れない環境で忙しく就職活動をするよりは、慣れた環境でした方がいいと思ったのも理由のひとつです。専攻科と大学、それぞれメリットとデメリットがあります。皆さん早めに進路を考え調べ決めていくことをお勧めします。

進学(合格)先

阿南高専専攻科(2)、京都工芸繊維大学、島根大学、徳島大学、豊橋技術科学大学(2)、長岡技術科学大学

就職希望13名(県内企業4名、県外企業等9名)が内々定をいただき、進学希望者8名は本校専攻科や志望する大学に合格済みとなっています。コース学生定員数の減少や進学希望者の増加によって、建設コース就職志



▲建設コース配属歓迎会

望者に対する求人倍率は、公務員を除いた民間企業だけで30倍以上となり、とても高い状況を維持しています。

さて、建設コースの行事ですが、4月に北の脇海岸での測量実習の後、2年生の建設コース配属歓迎会を上級生も交えて行いました。また、6月には徳島県技術士会による出前講座を4年生対象に行っていました。10月には3年生に対しても出前講座を行っていただく予定です。夏季休業中には、3C対象のまぜのおか測量合宿や3C・4C対象の伊方原発見学旅行、4C対象の関西方面への研修旅行と活発に行っており、学生・教職員の交流・絆を深めています。

最後になりますが、建設コース教職員一同、より良い学生生活となるようサポートして参ります。これからも、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

就職 5年生のコメント

5C 折野 未歩

高専を5年で卒業して、就職しよう。私が入学する前から考えていたことです。しかし、どんな仕事がしたいか、職種は？業種

は？県外に行きたいのか？考えるようになったのは、4年生の夏前、インターンシップ先を決めるときです。

私が内定をいただいた㈱アルボレックスは、ドアやクロゼットといった住宅の内装部材の設計・製造・販売を行っている県内企業です。建築設備系の会社に行こうと決めたのは、進路について考え始めてから早い時期でした。悩んだのは、県内と県外どちらで就職するかです。

悩んだ結果、私は県内企業を選びました。決め手は弓道です。私は高専に入学して弓道を始めました。3年の総体で引退する人が多い中、私は今でも一般に混ざって続けており、これからもそうするつもりです。それをしやすい環境が県内だったからです。

皆さんもこれから先、進路について考える機会が多々あると思います。もうすでにやりたいことが決まっている人は、その目標に向かって進んでください。自分のやりたいことがわからず悩んでいる人は、様々な視点から自分の将来を考えてみてください。大切なのは、「自分のやりたいことが出来る環境」を探すことです。仕事の内容ばかりではなく、自身の趣味も含め、自分の本当にやりたいことを見つけてください。皆さんが後悔のない選択ができることを願っています。

就職先

県内：㈱アルボレックス、㈱エス・ビー・シー、四国建設コンサルタント㈱、㈱補償実務
県外：国土交通省、四国電力㈱、信幸建設㈱、玉野総合コンサルタント㈱、東京都下水道サービス㈱、TOTOバスクリエイト㈱、西日本高速道路㈱、西松建設㈱、原田建設㈱

化学コース便り

化学コース主任 吉田 岳人

本年度より化学コース主任を仰せつかりました、吉田岳人です。化学コースを未来に向けてより発展させるべく微力を尽くしてまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

本コースは本年度をもって、2年から5年生まで本科全学年が充満しました。一期生の進路状況ですが、就職では、サントリー・ユニチカ・大塚製薬・大塚製薬工場・大塚化学・大鵬薬品、日亜化学などの県内外の有名企業に内々定者がでております（求人倍率18倍）。進学では、神戸大学・岡山大学・豊橋技術科学大学・長岡技術科学大学・徳島大学・本校専攻科などに合格しています。現在活況の追い風も受けておりますが、一期生の進路が順調に決定しておりますことは、学内外の皆様からのご支援・ご尽力の賜物であると再認識し、心より感謝申し上げます。

二期生は4年生となり、大学課程の専門授業に取り組んでおります。とくに今夏は必修である「インターンシップ」の受け入れ先が全員決まり、各企業・大学・公的研究機関（内1名は海外）にて研鑽に励んでおります。

教育・研究環境の整備としては、本年度当初にNMR（核磁気共

鳴）装置が導入されました。NMRは有機化合物の構造解析において不可欠の装置です。本コースではこのNMRを学生実験（4年生「物質化学実験」）にてコース全学生が学び、また有機化学系の卒業研究では配属学生がこれを駆使して、合成した有機化合物の構造解析を行います。すでに50周年記念材料工学棟などに設置されている装置類（全19台）と同じく、NMRを地域企業などの方々に広くご活用して頂きたいと思います。これらは本校全体の「阿南高専テクノパーク」の中で「マテリアル創造工房エリア」の中核をなしています。なお本NMR装置は㈱日亜化学工業様のご寄付による材料化学（日亜化学）講座事業の一環として導入されたものです。改めて記して深い感謝の意を表します。



▲NMRを使用する卒業研究（5年生）



▲分析化学実験（2年生）



▲研修旅行 理研 京（3年生）

進学 5年生のコメント

5 Z 國尾 祐貴

「井の中の蛙」。受験勉強を通して私はこれを痛感しました。進学、その中でも学力での編入学試験を受ける道を目指すようになってから、私はい

ままでの自分とは打って変わって勉強をやり始めました。しかし、そこで感じたのは確かな壁でした。私は幸いなことに高専での成績は良かったのですが、そんなものは編入学では当てにはならないようです。私がそれまでアドバンテージだと思っていた事は、出来て当たり前の世界でした。大学1、2年のシラバスの内容を見てもそれは明らかで、過去問題をやっていても、初めは分かる問題と分からない問題が半々といったような状態でした。編入学は私が思っている以上に大変な道だったようです。

皆さんはこの話を聞いて危機感を覚えますか？危機感を覚える人は今すぐ何か行動に移すべきです。本気で進学を志し、行きたい大学があるなら、現状に満足している暇は無いでしょう。なんでもいからまず何か、やってみてください。そうすれば、どんなモチベーションが上がってくるし、自分が今何をしようがいいのか、色々見えてくるものがあると思います。また受験勉強では、高専では習っていない問題に出会うことは往々にしてあります。そのため、先生に質問ができ、本を開ける環境が大切だと思います。また、集中できる環境というのも大切です。皆さんには、環境を選ぶことに妥協をしないで欲しいです。特に研究室はしっかり考えてください。私は受験の際、研究室の先生に本当にお世話になりました。5年生からは本格的に卒業研究が始まります。これは1年間あります。この1年を充実して有意義なものにするためにも、自分に合った研究室を真剣に選ぶことをお勧めします。

最後に、私が第一希望であった神戸大学に無事合格することができたのは、ひとえに私の受験を応援してくれた同期、先生方、家族のおかげだと思っています。本当に感謝しています。

就職 5年生のコメント

5 Z 中島 花帆

私は、2年生で化学コースに進級した時から、生活に密着したものづくりの会社就職すると考えていました。また、県外の会社を希望してい

ました。就職先を決めたきっかけは4年生のインターンシップでした。生活の中でよく商品を手にする飲料メーカーのサントリー株式会社を選び、クラスでも一番に志望企業を決めました。約1週間のインターンシップでしたが、お世話になったサントリーでは化学の基礎力、社会人としてのマナーなど多くのことを学びました。特に、社員の方々との話の中で、アットホームな雰囲気や部下の意見を積極的に取り入れるサントリーに魅力を感じ、どうしてもこの企業で働きたいと思いました。

4年生の3月から始まる就職活動では、共に頑張るクラスメイトと一緒にエントリーシートの作成、面接の練習に励み、化学コースの先生方からもたくさんのアドバイスを頂きました。東京台場での面接を終え、5月末にサントリーの人事の方から内定の電話を頂いたときの感動は今でも忘れません。今では、クラスメイト、先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

高専の生活も残り5年次後期のみとなりました。これから卒業までは、卒業研究、講義と毎日を大切に過ごし、日々の課題に全力で取り組み達成したいと思っています。阿南高専・化学コースの第1期卒業生としてサントリーで活躍できるよう頑張ります。

進学(合格)先

阿南高専専攻科(4)、徳島大学(2)、
神戸大学(1)、岡山大学(1)、
豊橋技術科学大学(1)、長岡技術科学大学(1)

就職先

県内：富田製薬(株)、㈱大塚製薬工場(2)、大塚製薬(株)、大鵬薬品工業(株)、日亜化学工業(株)(2)、東亜合成(株)、大塚化学(株)
県外：ユニチカ(株)、沢井製薬(株)、サントリープロダクツ(株)、㈱NIPPO、日東電工(株)

専攻科便り

専攻科長 西野 精一 (機械コース)

専攻科長を仰せつかっています、西野です。専攻科は、本科卒業後の2年間の課程であり、少人数を対象に充実した学習環境と、先進的な研究環境を整え、高度な専門知識と創造的な実践能力を持ったエンジニアの育成を行っています。教育内容は、日本技術者教育認定機構JABEEより技術者教育プログラムに認定されており、「ワシントンアコード認定大学卒業生と同等の学業レベル」が保証されています。加えて、大学改革支援・学位授与機構から、特例適用専攻科として認定されています。これにより、修了生は、大学卒業資格である学士の学位を取得と修習技術者(技術士第一次試験合格者)となることが出来ます。また、平成26年度の本科改組に対応した新しい専攻科として、機械システムコース、電気電子情報コース、建設システムコース、応用化学コースで構成される創造技術システム専攻の準備を進めており、来年度から新入生を迎える予定です。

現在1年生は、9月から3ヶ月間のインターンシップ期間のため、ドイツのオスナブリュック応用科学大学等海外の大学への留学や大阪大学等での研究活動のための準備を進めています。2年生は、進学、就職の

1年生のコメント

1MC 永尾佳弥

着いたのが専攻科でした。この選択は私の人生において大きなメリットになるだろうと感じています。

他大学に編入すると多くの人とつながりや、高専とは違った環境で勉学に励むことができます。しかし、研究面では、学部4年からの研究室配属になるため、学部3年に編入した場合に1年間時間が空いてしまいます。専攻科では本科5年で行っていた研究テーマを引き継ぐことができ、3年間研究を行います。私は本科5年から研究に力を入れており、4つの学会に参加し研究成果を報告してきました。専攻科では研究の時間が多くとれるため、より深い研究を行うことができ、9月には自身の研究テーマであるガラスの代表的な国際学会ICGでの学会発表を予定しています。

また、専攻科のインターンシップは期間が長いので多くの国内外の大学、企業を体験することができます。多くの企業や大学を見ることで、自分が本当にしたいことを見つけることができ、その進路に向かって突き進むことができると考えています。

より深い研究を行うことができ、また、本格的なインターンシップを通して自分の今後の人生の選択ができるのです。後悔しない進路を見つけるために、専攻科を選んでみてはいかがでしょう。

1ES 永島穂高

本科入学当初、専攻科への進学は全く考えていませんでした。7年間も同じ場所で生活をするイメージが湧かなかったからです。そんな私の専攻科入学の決め手となったのは、願書の締切日でした。

当時、大学への編入に心が傾いていた私は、ある友人から専攻科の締め切りが近いという情報を聞いて、専攻科への進学を即決しました。正直、「勢い」でした。なので、少し後悔したこともありましたが、共に過ごした多くの友人が就職や大学への編入をし、新たな地で新たな学びを得ようとしているのに自分はこのままいいのかなって。でも、結局は考え方の問題で、同じ場所での長期間にわたる生活や勉強でしか得られないものも絶対にあると、わりと早い段階で思うようになりました。実際に半年間、専攻科生活を過ごしてみて、課題は多いし時間は足りないし大変なことが尽きることはないですが、その分、新しい価値観も生まれました。専攻科のカリキュラムのおかげで、本科ではなかなか手を出しにくかった留学にも行くことになりましたし、自分の可能性は広がり続けていると感じます。

一見、ただ、流れに流されて生きているように見えるかもしれませんが、私も少しそう感じています。しかし、その流れの中でしか得られないものをできるだけ見逃さないようにはしているつもりです。得られるものはせつから得てしまおう、という私の考え方です。もちろん欲しいと思ったものに限りません。現状でしか得ることができない、自分の可能性を広げてくれるものというのはどこに行ってもあると思っています。そういうものには敏感に反応するようにしています。

よく「過去は変えることはできないけど、未来は変えることができる」みたいなことを耳にしますが、将来的に成功すれば、過去を良いように語ることができると思うので、現状を見つめ、選択し、現在の自分ができる最大限を出し切れるようにお互いに頑張りましょう。

本科を卒業し、専攻科に入学してから早4か月が経ちました。本科5年では他大学への編入を志していたものの失敗を経験し、もう一度進路を考え直した結果たどり着いたのが専攻科でした。この選択は私の人生において大きなメリットになるだろうと感じています。

時期を迎え、奈良先端科学技術大学院大学をはじめとするの国立公立大学大学院への進学や、日亜化学工業㈱、㈱大塚製薬工場等の企業への就職活動が順調に進んでいます。研究活動に関しても、現在までに過半数の学生が研究成果を国内外の学会で発表を行っています。今後も教育・研究環境を整え、高度なエンジニアの育成に努めますので、ご支援よろしくをお願いします。



創造工学授業風景

2年生のコメント

2MC 前田篤志

2つあります。

1つは、長期インターンシップで海外留学を経験できた点です。私は、専攻科1年次に約3か月間、ドイツのオスナブリュック応用科学大学へ留学しました。英語でドイツ語の授業を受けたり、英文研究報告書を書いたりすることは大変でしたが、自身の英語力を大幅に向上させることが出来ました。また休日には、友人とドイツのナイトマーケットに出歩いたり、寮で開催されるパーティーに参加したりして、楽しみながら異文化体験をすることが出来ました。

2つ目は、自分の進路についてじっくり考える時間を得られた点です。本科時代にお世話になった先生方と継続して生活できるため、進路相談もしやすく、自分に合ったアドバイスを頂くことが出来ました。また、結果として第1志望の企業に内々定につなげることが出来ました。

以上の理由で、私は専攻科への進学を強く推奨します。進学を考えている方、迷っている方は是非専攻科へ進学し、自身の能力を高めていくてください。

2ES 大和 洸介

私が専攻科へ進学した一番の理由は、それはまだまだ社会に出るのは早いと思ったからです。医療の発達、少子高齢化が進む日本で、よく言われているのが、人生100年時代の到来です。今後、定年を迎える年齢が、だんだんと押し上げられるでしょう。そんな中で、高専卒という看板を背負い社会の波に揉まれるのは、とても不安であると感じ、専攻科への進学を決めました。

しかし、専攻科へ入学してからというもの、就職した後の事を考え過ぎて、どのような経験があれば、社会で役に立つのだろうかとか多くの事に取り組んでしまい、気づけば、単位を落とすぐらい勉強に集中できない状況になってしまっていました。考える時間が欲しい、そう思い、長期インターンシップでベトナム留学へ飛び立ちました。そんな専攻科生としてはあるまじき自身への憂いが頭の中をかき乱していましたが、それを支えてくれたのは、私がそれまでに作り上げてきた人との繋がりでした。

そして、帰国後、与えられたタスクをこなした上で、就活セミナーへの参加など自身の就活の進捗を円滑に進める事が出来るようになりました。私は、親和欲求が強いんです。それらの環境で発揮する力の大小が変化するため、今後の生活においても、人との繋がりを大切に生きていきたいと感じています。

構造設計工学専攻

就職先: 日亜化学工業㈱、大鵬薬品工業㈱、TOA㈱、四国化工機㈱、日鉄住金パイプライン&エンジニアリング㈱
進学先: 奈良先端科学技術大学院大学、豊橋技術科学大学大学院(2)

電気・制御システム工学専攻

就職先: 日亜化学工業㈱、㈱大塚製薬工場、大阪ガス㈱、㈱OGCTS、㈱シーテック、㈱NTフィールドテクノ、旭化成㈱、花王㈱、セイコーエプソン㈱、パナソニック㈱コネクティッドソリューションズ社、リンク情報システム㈱、㈱アウトソーシング・テクノロジー
進学先: 徳島大学大学院(2)、長岡技術科学大学大学院、豊橋技術科学大学大学院

学寮(明正寮)から

寮務主事 中村 雄一 (電気コース)

今年度も引き続き寮務主事を務める、中村です。よろしくお願いいたします。
4月には新入寮の1年生95名(男子76名、女子19名)と留学生2名を含め387名の学寮生活がスタートしました。学寮には築いてきた伝統とともに施設が老朽化しましたが、ようやく改修のための予算がつきつつあります。昨年度後期に行っていました1号館3階の改修工事が終了し、4月より45名が入居しました。このフロアは各居室を寝室部分と学習机部分に分けました。寝室部分にはロフトベッドを導入し、スペースを効率的に使用できるよう工夫しています。また、共有スペースを広くとり、アクティブラーニング等が行えるような学習スペースを設けています。近年、女子の入学生の増加に伴い女子寮生も増え、現在女子寮の受入れ人数に余裕がない状況となっています。そこで、8月下旬から来年2月末までの予定で5号館の全面改修工事を行い、女子寮を拡張します。今年度後期も改修工事の為、約40名の学生には一時通学等をお願いしています。ご協力ありがとうございました。

昨年度後期から新たに良き伝統になるであろう、ゴミ処理方法の改善のための取組みが進められています。約400名の寮生が生活する学寮では大量のごみが発生し、その処理のため毎年多くの経費がかかっています。そこで、昨年9月の役員研修では役員寮生・環境委員の中心メンバーが上勝町のゼロ・ウェイストおよびエコみらいとくしまの視察を行い、ごみ処理の先進的な取組みについて知識を得てきました。この研修後、役員寮生と環境委員が寮内のごみ分別方法・収集方法などを改善し、経費削減に大いに成果をあげています。将来的にはゴミの資源化も検討し、「学生寮ごみゼロ宣言」の実現を目指しています。

今年度も寮祭、特別講演、教養講座、寮内勉強会など多くの行事を実施していきます。学寮での活動を通じて、寮生一人一人が成長してくれることを願っています。



1号館3階自習スペース



朝のラジオ体操



北の脇クリーン作戦



役員研修(ゴミ処理)



学寮特別講演



留学生と英会話部



たこ焼きParty

国際交流室便り

室長 林 田 栄 治 (一般教養)

本校では、これまでも提携大学との学生及び教員の相互交流を活発に行ってきました。受け入れた短期留学生は、本校の専門教員の下、各自の研究テーマについて研究し、大きな成果を上げてきましたが、今年度はドイツのオストファリア応用科学大学から、初めて文系の学生を受け入れました。法学部の学生は、一般教養の憲法専門の今田教員指導の下、日独の憲法のクロススタディを行い、社会福祉学部ソーシャルワーカー専攻の学生は、双葉会での実習及び四国大学の看護学部と連携した指導を行いました。

本校から派遣した学生は、各留学先の大学で様々な研修プログラムに参加していますが、特にシンガポールのパブリック・ポリテクニクでの本格的な現地プロジェクトは、今年度からプロジェクト期間が延び、9月より派遣される専攻科生4名はより深化した研修を受けることが期待されています。

9月に実施される本科2・3年生が参加する台湾研修旅行では、国立聯合大学を訪問し、現地の学生と交流するだけでなく、台湾起業家のプレゼンを聴講する予定です。

学生間の交流だけでなく、教員間の交流も盛んに行われています。今年11月には、インドネシア・スマトラ島のRiau州 Pekanbaru市にあるPoliteknik Caltex Riauの電気系の教員6名を受け入れ予定で、これは高専機構初の教員研修の受け入れとなります。

今年度の学生及び教員の受け入れと派遣(予定含む)は次の通りです。

短期就学生の受け入れ

オストファリア応用科学大学(ドイツ):2名、中央電気短大(ベトナム):2名、国立聯合大学中国語教育実習生(台湾):2名

短期留学生の受け入れ予定

リパブリック・ポリテクニク(シンガポール):3名、オスナブリュック応用科学大学 大学院生(ドイツ):2名、中央電気短大(ベトナム):1名

学校訪問の受け入れ予定

リパブリック・ポリテクニク(シンガポール):32名

教員研修の受け入れ予定

Politeknik Caltex Riau(インドネシア):6名

本校学生の派遣

リパブリック・ポリテクニク(シンガポール):専攻科生4名(約2か月)
国立聯合大学(台湾):専攻科生4名(約2か月)
キングモンクット工科大学(タイ):本科4年生3名(約1か月)・専攻科生2名(約2か月)
オストファリア応用科学大学(ドイツ):専攻科生3名(約3か月)
中央電気短大(ベトナム):専攻科生7名(約2か月)
Institute of Canterbury(ニュージーランド):本科3・4年生7名(5週間)
研修旅行(台湾):本科2・3年生30名(4日間)

さらに本校には、本科3年に2名、4年に2名、5年に3名の留学生が在籍しています。本科留学生・短期留学生とも、寮生活や英会話クラブでの活動、研究室での研究活動を通して日本人学生と積極的に交流しています。また地域のイベントや国際交流協会の活動にも参加し、地域の国際交流にも貢献しています。

部活動報告

テニス部

顧問 原 野 智 哉 (機械コース)

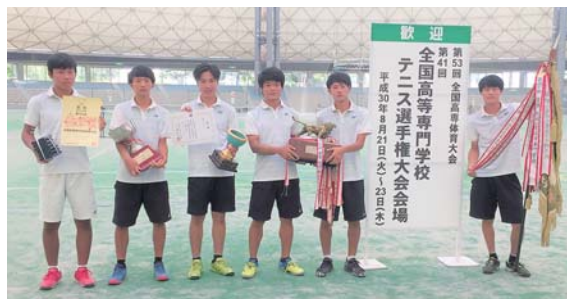
テニス部は全国高専体育大会 男子団体において2年連続で優勝し2連覇の偉業を達成しました。阿南高専において全国大会団体で2連覇したのは1988年にソフトテニス部が達成して以来、本校としては2回目30年ぶりの快挙です。2連覇を達成した決勝戦の選手の活躍の様子を紹介致します。平成29年は第40回全国高専テニス選手権大会(第52回全国高専体育大会)にて男子団体メンバー(主将5 S 下川敦也・2 Z 今川雄斗・4 C 大西友樹・5 E 村口巧・3 M 佐藤良祐・4 I 藤本優輔・4 M 芝井尚輝(当時))で大会に臨みました。決勝では2 Z 今川雄斗がシングルス1で絶対的な強さを発揮し勝利すると、5 E 村口・3 M 佐藤ペアのダブルスで惜敗したものの、シングルス2を任された4 C 大西友樹が第2セットに持前の体力で脅威の粘りを発揮し、タイブレークを10-8で制すると第3セットを着実に勝利しセットカウント2-1で大逆転勝利を収め、勝利は極めて困難と思われた石川高専に2-1でドラマティックな初優勝を飾りました。昨年は四国地区高専6キャンパスにおいて40年間で初となるテニス競技の優勝旗、優勝杯、大変名誉ある文部科学大臣杯に加え、優勝校の活躍を称えた格高獅子奮迅像を持ち帰ることができました。本年第41回全国高専テニス選手権大会(第53回全国高専体育大会)でも、男子団体メンバー(主将5 I 藤本優輔・3 Z 今川雄斗・5 M 芝井尚輝・5 M 溝淵貴大・4 M 佐藤良祐・5 E 吹上優心)で大会に臨みました。四国選手権ベスト8を誇る団体メンバーを主力とする選手層の厚さを武器に、決勝では近畿大学高専と対戦し、3 Z 今川雄斗がシングルス1で第1セットを接戦で奪取しながらも、ラリーが長期化し熱戦を繰り広げる間、シングルス2を任された5 I 藤本



▲第40回全国高専テニス選手権大会
男子団体優勝 平成29年8月25日

優輔が1時間で2セットを連取し勝利すると、5 M 溝淵・4 M 佐藤ペアのダブルスも第1セット6-4、第2セットでは接戦6-6になったもののタイブレークを11-9で連取し、セットカウント2-0で勝利し、強敵の近畿大学高専に2-0(シングルス1打ち切り)で2連覇を達成することができました。

テニス部は平成30年四国地区高専体育大会で男子団体5連覇を達成したほか、県高校総体男子団体4年連続3位入賞や高校夏季大会で男女団体ダブル優勝をするなど大きな成果を上げています。これらの躍進には最近10年間で顧問・コーチ・選手が三位一体となりコミュニケーションを充実させ、県内外の練習試合を年間30以上実施し、練習・トレーニングを計画的に実施するほか、強い中学生ジュニア選手の本校入学・入部が契機となったと思います。また、練習試合や大会会場までの送迎や大会での応援を保護者の皆様が積極的に実施していただいたことも大きな支援となったことに厚く御礼申し上げます。また、県外遠征で本校スクールバスを利用でき、移動費を安く抑え実施できたことも大きかったと思います。顧問・コーチ・部員とも平成31年度も全国高専大会団体3連覇を目指します。どうぞこれからも変わらぬ皆様方のご支援・ご声援をテニス部にお願い致します。



▲第41回全国高専テニス選手権大会
男子団体優勝 平成30年8月23日

剣道部

顧問 松 保 重 之 (建設コース)

男子団体戦の戦績を中心に報告します。4月の徳島県剣道連盟会長杯では1回戦で小松島高校に敗れ、山家旗争奪県下剣道大会でも予選リーグで敗退、5月の四国地区高専剣道交歓試合では4位、さらに6月の高校総体では1回戦で富岡西高校に敗れました。このように結果は芳しくなかったのですが、多少の手応えはありました。選手個々の技量はそこそこあるのですが試合に慣れていない感じがしていたので、その弱点を補うため高専大会直前に阿南工業高校へ練習試合に行きました。また、選手たちは試合用の道着も揃えて大会のムードを高めました。

その結果、7月の四国高専大会では団体戦3位となり久しぶりに上位になりました。その陰には、部員の増加や選手のやる気高揚は勿論ですが、指導の先生方の充実ぶりにも目を見張るものがあります。4月からは外部コーチの鈴木啓三・住友久夫両七段の先生による熱意ある指導、小西先生が学生とともに汗を流す懸命な練習姿勢、湯城先生も今まで以上に剣道具を着ける機会が増えてきました。このような理由により、学生たちの士気も上がってきた感じがします。なお、試合用道着新調と練習試合の設定は鈴木先生のご尽力のお陰であることを付記します。今後ともよろしくお願い致します。



卓球部

顧問 福 見 淳 二 (情報コース)

卓球競技は、皆さんご存知の通り個人種目でもあり団体種目でもあります。そのため、阿南高専卓球部では、部員各々がライバルとして日々切磋琢磨しながら、時には大会出場を懸けて真剣勝負をし、時にはチームとして一致団結して協力し合うなど、部全体がいい緊張感をもって練習に取り組んでいます。その成果が表れてきており、昨年度は四国地区高専体育大会で男子ダブルス準優勝、女子ダブルス3位、女子シングルス3位となり、男子ダブルスが全国高専体育大会に四国地区代表として出場しました。今年度は、7月6～8日に三豊市総合体育館で開催された四国地区高専体育大会で男子団体3位、女子ダブルスで4 C 前川忍、3 E 佐藤来夏組が準優勝、男子シングルスで4 Z 西條賢人が3位となり、女子ダブルスが8月24～26日に北九州市立総合体育館で開催された全国高専体育大会に出場し、惜しくも予選リーグ敗退という結果になりましたが大健闘しました。これ以外にも、県高校大会での成績も全体的に向上してきており、日々の練習もさらに活気づいてきています。



今後は、男女揃っての「3年連続全国高専大会出場」を目指して練習に励みたいと思います。これからの活躍にご期待ください。

各種大会報告 (平成30年9月現在)

日付	団体・個人	部 門	賞	クラス	氏 名
第10回阿南市高校テニス大会					
H30.4.21	個人	男子シングルス	第3位	3 Z	直 江 翔 大
	個人	男子シングルス	第3位	3 I	武 田 一 磨
	個人	男子シングルス	準優勝	3 Z	今 川 雄 斗
	個人	優秀選手賞		3 Z	今 川 雄 斗
H30.4.22	団体	男子団体	優勝		
第15回春季高校弓道大会					
H30.4.28	団体	男子団体	第3位		
第17回阿南市創世杯バドミントン大会					
H30.5.27	個人	男子ダブルス 2部	準優勝	1-3	森野純一郎
				1-3	中摩龍之輔
徳島県高等学校総合体育大会					
H30.6.3	個人	(水泳競技) 男子100mバタフライ	優勝	3 M	奥 田 真 也
	個人	(水泳競技) 男子200mバタフライ	優勝	3 M	奥 田 真 也
	個人	(水泳競技) 男子400m自由形	第3位	1-2	矢 野 純 平
H30.6.2	個人	(陸上競技) 男子棒高跳	第1位	2 C	谷 知 篤
	個人	(陸上競技) 女子走幅跳	第3位	3 C	新 居 鈴 菜
H30.6.3	個人	(陸上競技) 女子七種競技	第3位	3 C	新 居 鈴 菜
H30.6.4	団体	(陸上競技) 男子フィールド	第3位		
徳島県高等学校選手権大会					
H30.6.17	個人	(水泳競技) 男子100mバタフライ	優勝	3 M	奥 田 真 也
	個人	(水泳競技) 男子200mバタフライ	優勝	3 M	奥 田 真 也
	個人	(水泳競技) 男子400m自由形	第2位	1-2	矢 野 純 平
徳島ジュニアテニス大会					
H30.6.24	個人	U18男子ダブルス	準優勝	3 Z	今 川 雄 斗
2018国民体育大会徳島県予選					
H30.7.1	個人	(テニス競技) 少年の部 女子シングルス	3位	3 Z	森吉瑛里子
第55回四国地区高等学校体育大会					
H30.7.7	個人	(水泳競技) 男子200mバタフライ	優勝	3 M	奥 田 真 也
	個人	(水泳競技) 男子400m自由形	優勝	5 I	溝 木 隆 太
	個人	(水泳競技) 男子400m自由形	第2位	1-2	矢 野 純 平
	個人	(水泳競技) 男子200m個人メドレー	第2位	1-2	矢 野 純 平
H30.7.8	個人	(水泳競技) 男子800m自由形	優勝	5 I	溝 木 隆 太
	個人	(水泳競技) 男子800m自由形	第2位	1-2	矢 野 純 平
	個人	(水泳競技) 男子100m背泳ぎ(大会新)	優勝	3 M	奥 田 真 也
	個人	(水泳競技) 男子100mバタフライ	優勝	3 M	奥 田 真 也
	個人	(ソフトテニス競技) 男子ダブルス	第3位	5 E	青 木 英 弥
				5 M	伊 藤 風 汰
	団体	(ソフトテニス競技) 団体戦	準優勝		
	個人	(バドミントン競技) 女子ダブルス	第2位	5 I	岡 田 萌 香
				5 Z	野 村 知 里
H30.7.7	個人	(陸上競技) 男子100m	第1位	4 C	谷 亮 磨
	個人	(陸上競技) 女子100m	第1位	3 Z	藤 井 佑 衣
	個人	(陸上競技) 男子砲丸投	第1位	1-3	坂 野 翔 哉
	個人	(陸上競技) 男子砲丸投	第2位	4 E	梶 野 晃 生
	個人	(陸上競技) 女子砲丸投	第2位	3 C	新 居 鈴 菜
	個人	(陸上競技) 女子走幅跳	第2位	3 C	新 居 鈴 菜
	個人	(陸上競技) 男子走幅跳	第2位	4 C	谷 亮 磨
	個人	(陸上競技) 男子400m	第1位	4 E	伊 丹 航
	個人	(陸上競技) 男子1500m	第3位	4 C	野 口 佑 大
	個人	(陸上競技) 男子4×100m	第2位	4 C	谷 亮 磨
			4 E	伊 丹 航	
			2 C	原 浩 史	
			2 E	田 宮 昌 幸	
H30.7.8	個人	(陸上競技) 男子200m	第1位	4 E	伊 丹 航
	個人	(陸上競技) 女子800m	第3位	3 C	新 居 鈴 菜
	個人	(陸上競技) 男子800m	第2位	4 C	野 口 佑 大
	個人	(陸上競技) 男子円盤投	第1位	1-3	坂 野 翔 哉
	個人	(陸上競技) 男子4×400m	第3位	2 E	大 前 歩
				4 C	野 口 佑 大
				4 C	谷 亮 磨
				4 E	伊 丹 航
	個人	(陸上競技) 男子三段跳	第1位	4 C	谷 亮 磨
	個人	(陸上競技) 男子三段跳	第2位	2 E	大 前 歩
	団体	(陸上競技) 総合	優勝		
	個人	(テニス競技) 女子ダブルス	優勝	4 M	瀧 根 風 香
			3 Z	森吉瑛里子	

日付	団体・個人	部 門	賞	クラス	氏 名
H30.7.8	個人	(テニス競技) 女子ダブルス	準優勝	3 M	加 藤 唯 菜
				1-2	稗 田 華 子
	個人	(テニス競技) 女子シングルス	優勝	3 Z	森吉瑛里子
	個人	(テニス競技) 女子シングルス	準優勝	4 M	瀧 根 風 香
	個人	(テニス競技) 男子ダブルス	第3位	3 Z	今 川 雄 斗
				3 Z	福 徳 直 記
	個人	(テニス競技) 男子ダブルス	準優勝	5 C	大 西 友 樹
			5 M	溝 沢 貴 大	
	団体	(テニス競技) 男子団体戦	優勝		
H30.7.11	個人	(テニス競技) 男子シングルス	優勝	3 Z	今 川 雄 斗
	個人	(テニス競技) 男子シングルス	準優勝	5 I	藤 本 優 輔
H30.7.7	個人	(柔道競技) 男子90kg級	第3位	1-3	楠 尊
	個人	(バドミントン競技) 女子ダブルス	準優勝	5 I	岡 田 萌 香
				5 Z	野 村 知 里
	個人	(卓球競技) 女子ダブルス	準優勝	4 C	前 川 忍
				3 E	佐 藤 来 夏
	団体	(卓球競技) 男子団体戦	第3位		
H30.7.8	個人	(卓球競技) 男子シングルス	第3位	4 Z	西 條 賢 人
第69回四国地区高等学校体育大会					
H30.7.14	個人	(水泳競技) 200mバタフライ	第2位	3 M	奥 田 真 也
H30.7.15	個人	(水泳競技) 100mバタフライ	第2位	3 M	奥 田 真 也
徳島県高等学校夏季テニス大会					
H30.7.24	個人	女子シングルス	優勝	1-2	稗 田 華 子
	団体	男子団体	優勝		
H30.7.25	団体	女子団体	優勝		
第51回全国高等専門学校サッカー選手権大会四国地区大会					
H30.7.28	個人		優秀選手賞	5 M	吉 川 寛 人
				5 M	金 森 陸
				5 M	倉 橋 将 太
第5回全国高等専門学校弓道大会中四国予選					
H30.7.23	団体	女子団体の部	準優勝		
	団体	男子団体の部	第3位		
	個人	男子個人の部	第3位	2 Z	新 谷 昇 也
平成30年度阿南市体育祭バドミントンの部					
H30.8.19	個人	(バドミントンの部) 男子ダブルス2部	優勝	1MC	井 形 友 蔵
				1MC	高 井 龍 馬
	個人	(バドミントンの部) 男子ダブルス3部	優勝	1-3	森野純一郎
				1-3	中摩龍之輔
	個人	(バドミントンの部) 男子シングルス2部	優勝	1-3	森野純一郎
	個人	(バドミントンの部) 男子シングルス2部	準優勝	5 M	岩 瀬 晃 平
個人	(バドミントンの部) 男子シングルス2部	第3位	3 M	久 保 郁 弥	
徳島県高校秋季テニス大会					
H30.8.19	個人		優秀選手賞	3 Z	今 川 雄 斗
				3 Z	福 徳 直 記
				3 I	武 田 一 磨
				3 Z	直 江 翔 大
				3 Z	近 藤 渉
				3 M	加 藤 唯 菜
				3 Z	森吉瑛里子
				3 M	向 美 佳
第53回全国高等専門学校体育大会					
H30.8.18	個人	(陸上競技) 女子100mH	第2位	3 C	新 居 鈴 菜
H30.8.19	個人	(陸上競技) 男子砲丸投	第2位	4 E	梶 野 晃 生
	個人	(陸上競技) 男子三段跳	第2位	4 C	谷 亮 磨
	個人	(陸上競技) 男子三段跳	第3位	2 E	大 前 歩
	個人	(陸上競技) 女子100m	第3位	3 Z	藤 井 佑 衣
H30.8.23	個人	(テニス競技) 男子シングルス	第3位	3 Z	今 川 雄 斗
	個人	(テニス競技) 女子シングルス	第3位	3 Z	森吉瑛里子
	個人	(テニス競技) 女子ダブルス	第3位	4 M	瀧 根 風 香
				3 Z	森吉瑛里子
	団体	(テニス競技) 団体戦	優勝		
H30.9.1	個人	(水泳競技) 男子400m自由型	第3位	5 I	溝 木 隆 太
H30.9.2	個人	(水泳競技) 男子800m自由型	第1位	5 I	溝 木 隆 太
	個人	(水泳競技) 男子200mバタフライ	第1位	3 M	奥 田 真 也
	個人	(水泳競技) 男子100m背泳ぎ	第1位	3 M	奥 田 真 也

平成30年度 前期の行事報告

新入生研修

副学生主事 中 島 一 (一般教養)

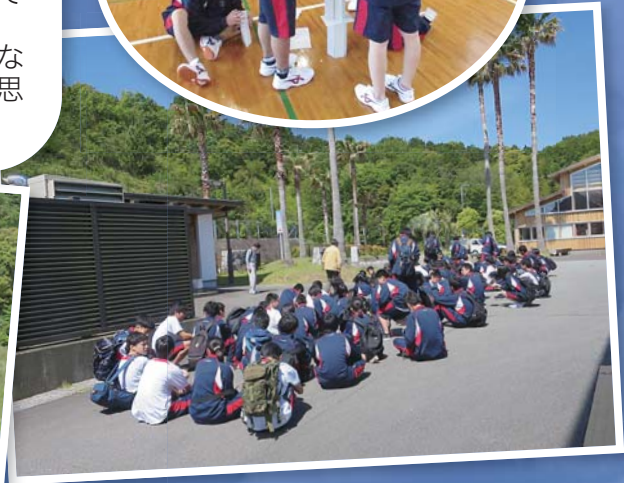
平成30年5月11日(金)に海部郡海陽町の『まぜのおか』にて新入生研修を実施しました。

本年度は宿泊をしない日帰りのプログラムとなり、チームビルディング研修とオリエンテーリングを行いました。

チームビルディング研修では、チーム内でコミュニケーションを密にし、課題に向かって協力する大切さを学びました。

オリエンテーリングでは、天候にも恵まれ、大自然の中で学生同士の親交を深めることができました。

研修を通して、これからの学校生活に必要な姿勢と人間関係の基礎を築くことができたと思います。



体育大会

副学生主事 中 島 一 (一般教養)

平成30年5月18日(金)に春季体育大会を実施しました。天候に恵まれ、学生たちは熱戦を繰り広げました。

例年通り、ソフトボール・サッカー・バレーボール・バスケットボールと、フリースポーツとしてペタンクとバドミントンを実施しました。

また、大会開催中には、学生DJが音楽で盛り上げてくれています。

結果は表の通りです。やはり春季体育大会は高学年が強いです。専攻科も総合3位に食い込む健闘が見られました。

秋季体育大会では低学年の躍進を期待しています。



総合優勝 4 M

準優勝 4C・4Z
第3位 専攻科

種 目	優 勝	準優勝	第3位
ソフトボール	4C・4Z	4 M	5 S
サッカー	5 M	3 E	3 M
バスケット	4 M	3 I	4C・4Z
バレー	専攻科	5 Z	5 E



2018 蒼阿祭案内

11月10日・11日

おいでませ! 蒼阿祭

蒼阿祭執行委員長
電気コース4年 藤川 嶺 雄

今年の蒼阿祭のテーマは「**First innovation for Next generation**」です。意味は「新時代のための始まりの一步」です。

今年で平成が終わりを迎えるということもあり、最後の総集編となるような今までを超える盛大なものにするために執行部一同、頑張っています。また、来年は新しい年号となってさらに飛躍していくために、新たなことにも挑戦していくつもりです。

もし蒼阿祭に来ていただければ、最高の思い出になるはずです。皆様の御来校をお待ちしております。

学生の言葉 ～3年生より～

■ 高専生活の中で

機械コース3年 中川 紗花

高専に入学した当初、私はやる気に満ち溢れていて、卒業したら専攻科に行き大学院まで行くという目標も立てていました。しかし、ただただ上を目指すことは自分のやりたいことなのか、自分にとって意味のあることなのかと思うようになりました。高専生活は自分がどう過ごしていくかで将来がどんな風にも変わります。残り的高専生活も自分を見つめ、将来を考えたいと思います。

■ 高専という道

機械コース3年 岩木 貴哉

高専入学時、僕の胸は希望で溢れていました。5年間勉学に励み、順風満帆の高専生活を送れたら、と浮かれていました。しかしエンジニアになるため具体的に何をするのか、よくわかっていませんでした。

なぜ高専は5年もあるのか、それはエンジニアとして社会を担う、頼もしい若者になるための道を構成しているからです。社会に出れば必ず問題に直面します。目標としている計画の実現のため、何をすべきなのか、それがわからないうちは社会で生き残ることは不可能である。それが僕が知った現実です。しかし高専には、それを可能にするための術を知る先生方、そしてその術を学んでいる先輩達があります。不明瞭なことはすぐに訊いてください。5年という限られた期間でどれだけ周囲より成長できるか、それがあなたのエンジニアとしての人生を大きく左右します。あなたの将来が素晴らしいものになるように、そして僕自身が後輩を支えられる先輩になれるように、共に阿南高専で切磋琢磨しましょう!

■ いい節目の年に

電気コース3年 佐藤 来夏

入学してからあっという間に時が過ぎ、高専生活の節目となる3年生になりました。勉強も専門教科が増え、どんどん難しくなっているのを感じます。また、3年の初め頃には、高校総体という部活動の大きな区切りを迎え、前期中間テストの勉強もしながら練習に励みました。精神的にも肉体的にも辛い時期でしたが、今振り返れば、自分にとっていい経験だったと思います。これからさらに一般科目が減り、専門科目がメインになっていきます。そのことを1年生から2年生、2年生から3年生と学年が上がるたびに感じ、3年生から4年生になるとときにはさらに実感することでしょう。私は高専生なんだと自覚します。高専生活もあと半分となりました。高専生として自分をどこまで高められるか、日々挑戦していきたいです。

■ まだまだレベルアップ

電気コース3年 笠原 優太

阿南高専に入学して早くも2年が経過し、様々な面においての節目となる3年生になりました。信頼できる仲間と共に楽しい毎日を送っているせいか、ここまですぐという間でした。勉強の面においては、周りのレベルも高く、ついていくのに精一杯です。しかし、一人ではできないことでグループワークを通じて友達に教えてもらえるので、楽しく感じています。部活動の面においては、三年連続の四国総体出場という目標を達成できなかったのが悔やまれますが、主将としてチームをまとめたことで少しは成長できたかなと思います。残すところ半分の高専生活を自分自身のさらなる成長につなげていきたいと思っています。

■ 夢の実現に向けて

情報コース3年 吉木 史香

早くも高専生活の半分以上が過ぎました。何も分らず入学した2年前を懐かしく思います。高専に入学するまで、ものづくりとは無縁でした。高専に入学し、少しずつ専門分野の知識や技術を身につけるようになり、漠然とした「エンジニアになる」という将来の夢が具体性を帯びてきました。残り的高専生活を通じて、自分の今後やりたいことを見つけ、勉学に励んでいきたいと思います。

■ 仲間

情報コース3年 長尾 映哉

私は、プログラミングを小学6年から始め、空き時間を利用して様々なアプリケーションを1人で開発してきた。そんな中で、いろんな人と関わりたいという思いや、大きなプロジェクトを誰かと成功させたいという思いが強くなり、高専への入学を決めた。同志に出会ってからは、複数人での開発もするようになり、貰った時にはお互いにサポートしあっている。このような高専での経験は社会に出たときにも役立つだろう。出会えた仲間にはとても感謝している。これからも仲間を増やしていきたい。

■ 継続の先へ

建設コース3年 以面 竜磨

中学からバドミントンを始め、今年で6年目になる。最後の高校総体ではあまりいい結果は残すことができなかった。

その時の後悔をもとに、夏の高専大会では自分なりに悔いの残らない結果が出せたと思う。しかしもっと上を目指し、全国大会に団体戦、個人戦ともに出場できるように、残りの2年間を有意義に過ごしていこうと思う。

■ 速く・高く・遠く

建設コース3年 新居 鈴菜

今年の6月、中学から続けてきた陸上競技に一区切りがついた。結果は、四国総体止まりで目標としていたインターハイには出場できなかった。この6年間、様々な人たちに助けられた。特に、高専に入学してからは、先輩後輩問わず、たくさんの人たちにお世話になった。競技のコツや練習メニューなど、不器用な私に懸命になって教えてくれ、感謝の気持ちでいっぱいである。この感謝の気持ちを忘れず、残りの少ない陸上生活を頑張っていこうと思う。もっと速く・高く・遠く跳べるように。

■ 笑顔

化学コース3年 藤井 佑衣

私たちの高専生活はいつの間にか残り半分となった。私の周りには相変わらずいろんな笑顔が溢れている。その笑顔に何度助けられただろう。振り返ると、入学してからこれまで、何度も壁に阻まれ、逃げ出したくなったり、友達とぶつかり合うことも少なくなかった。それを乗り越え、今、この瞬間を笑顔で迎えているのは、多くの方の支えがあり、励まし合い、互いを尊重し、分かり合える仲間がいたからだ。泣き顔を笑顔にしてくれる、そんな仲間と出会い、笑い合えることに感謝し、これからも自分の道を堂々と歩んでいきたい。

■ '日々'

化学コース3年 岡内 駿之介

入学してから2年半が過ぎた。この2年半で中学生生活は思いから過去になった。運動場の土のにおい、体育祭の熱、文化祭での団結、卒業式の涙でさえ、鮮明に思い返すことは叶わない。時の流れと共に、思い出は主観性を失い、風化し、消えていく。今の高専生活もいつか過去になる日が来る。忘れてしまうからこそ、消えてしまうからこそ、今の高専生活を友達と全力で満喫している。きっと10年後、この毎日を惜しまない。

図書館便り

《図書館の編集》

図書館長 今田 浩之（一般教養）

《図書空間の編集》。昭和47年に竣工した図書館は、昨年の改修前の時点で、2階に、開架の「図書閲覧室」「雑誌閲覧室」「学習閲覧室」と「図書事務室」があり、また2階と1階に閉架「書庫」がありました。

改修工事で壁の撤去等が行われ、2階の開架スペースは、1つの「閲覧室」へと統合されました。「閲覧室」では、新聞・雑誌架や新着・企画展示架を入口付近に設け、その先の北側に図書の書架群を、南側に閲覧机を、いずれも方向を揃えて配置しました。折々の必要性から家具が増設され、入り組んだ配置であった以前の状況は解消されました。（「学習閲覧室」は、「アクティブラーニングスタジオ」へと転じました。）

《図書配架の編集》。図書館には、学生の皆さんによる「クラス希望図書」や「リクエスト図書」、先生方からの「コース等推薦図書」を基本に、例年600～1,000冊の図書が新規登録されています。それらは順次「図書閲覧室」に配架されたのですが、スペース確保のため同規模の図書が「書庫」に移されます。そして、やはりスペース確保のため「書庫」から同規模の図書が除籍措置されました。長年の登録・除籍慣行の結果、「図書閲覧室」では、新規図書の入っていない棚に古い図書が多数残存し、また「書庫」には、保管に値する図書とスペースの関係で閉架措置になった図書とが混在しておりました。

昨年の11月下旬、新しい「閲覧室」は、改修前にコース等別で先生方に厳選いただいた閲覧提供に値する図書を優先配架して、サービスを開始しました。その後、2つの「書庫」につき、半年以上の時間をかけて、保管すべき図書の選定を行いました。近時、不用図書を除籍し、順次、引取のご案内をしておりますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

教員推薦図書

各コース等の先生方に、お薦めの図書を紹介していただきました。ここで紹介している図書は、図書館に所蔵していますので、ぜひ手にとってみてください。

【一般教養】 新井 修

勝てる!理系なテニス

田中信弥、松尾衛 著

本書の特徴は、一つのお題に対して、元プロテニスプレーヤーと物理学を専門とする東京大学教員が回答しているところにあります。言い換えるとプロ選手の高い経験則と物理学を専門とする教員のエビデンスで本書は成り立っています。

これまでのスポーツ指導は、高いスキルを持った指導者の運動内観を言語化し、プレーヤーにコミットしていくのが主流でありました。しかし、近年スポーツ界において「エビデンス・ベースド」の考え方が浸透してきており、「なぜそうなのか」を力学的に解説することが重要とされるようになってきました。本書は双方の立場の考え方を融合して、最適解を導き出しています。

これからのスポーツ現場においては、コーチだけでなく、プレーヤーがこういった視点に立ち、パフォーマンスの向上に努めるべきであります。手前味噌にはなりますが、昨年度から体育教員による「部活動支援のためのスポーツ科学講習会」を開催しています。講習会の趣旨については、本書のねらいと合致する点が多く含まれております。興味があれば是非ご参加ください。

【電気コース】 香西 貴典

図解入門 よくわかる最新電気の基本としくみ

藤瀧和弘 著

身近な電化製品を例に挙げながら、電気の基礎を簡単に解説した入門書です。現在、私たちの生活を豊かで便利にしている電化製品ですが、この本では電気に関する様々な性質や仕組みについて図表が用いられており、わかりやすく解説しています。難しい法則や計算などはあまり記述されていないので気軽に手に取ってみてください。

これから電気・電子について学ぼうと考えている学生さんにとっては、勉強する動機づけや電気的現象を製品に応用するときの事例などが書かれているので最適かもしれません。3年生以上の学生さんには入門書なので少し足りないかもしれませんが、この本で全体像を把握してから、次の専門書を探す手助けになると思います。また、気になる分野に関する章を中心に読むのもよいと思います。

専門で学んでいる学生さんだけでなくそうでない人も、目に見えない電気について勉強してみたいかたがでしょうか？

【建設コース】 松保 重之

橋梁工学 第5版

橋善雄 著

名著だ。古い本で分厚い。でも、私が専門とする構造工学は古い学問で、既に体系が出来上がっていて、学校で教えるべき事柄は変わっていないのだから当然のことなのだ。いくら人工知能（以後AI）が出てきて、構想・計画から維持管理までの全てを完全自動でやってくれる世の中が来るにせよ、それには未だもう少し時間が必要だろう。仮に、完全自動化の世の中が来ても、どんな問題点があって、それを解決するには、どんなに大変なことなのか、くらいは知っておかないと、AIが作ってくれた社会基盤を見たとしても、人間は全く感動が湧かないだろう。また、そんな工夫を他の問題に応用することすら思いつかないだろう。人間の創造的活動までもAIに明け渡してしまうような怖い世の中としないために、基本的な事項、その背景などを知っておきたい。しかし、昨今の書籍は不人気で、値段を下げるため紙面を少なくし、背景や詳細は割愛される傾向にある。そこで、この本の紹介に戻るが、この本は版を重ねて改良され、また、紙面を割愛することなく詳細に解説している。読みやすい本ではないかもしれないが一冊の中に基礎的事項・背景・必要性など、良くまとまって書かれている。是非、参考にして頂きたい。

【機械コース】 伊丹 伸

新しい1キログラムの測り方

白田孝 著

来年5月20日に質量の単位kg（キログラム）の定義が改定されることを皆さんご存じでしょうか。現在の国際単位系（SI）では7つの基本単位（長さ、質量、時間、電流、熱力学温度、物質質量、光度）が定義されています。その基本単位の中で唯一人工物（国際キログラム原器：直径および高さとも約39[mm]の白金とイリジウムの合金でつくられた円柱状のもの）によって定義されているのが質量です。この国際キログラム原器は、破損したり摩耗したりしないように厳重に室内で保管されていますが、その基準が極わずかに変動（最大50マイクログラム：指紋1個相当）していることが最近わかってきました。日常生活にはほとんど影響しないほどの大きさですが、今後の科学技術の進歩を阻害する恐れが出てきたのです。そこで、人工物に依存しない新しい定義（プランク定数による定義）を求めて、計測に携わっている世界中の研究機関が協力して開発を続け、ようやくその目処がついたということです。なお、質量の定義改定に伴って、電流の単位アンペアと物質質量の単位モル、およびこれらの3単位とは独立に熱力学温度の単位ケルビンの定義も改定されます。

この書籍には新しい質量の定義、単位の成り立ちや歴史およびその変遷などが分かりやすく解説されています。本書を通して普段何気なく使っている単位への興味や理解を深めてください。科学技術や計測技術の進歩に伴って、単位が変わってきていることに気付かされるでしょう。

【情報コース】 太田 健吾

現代暗号入門 いかにして秘密は守られるのか

神永正博 著

「4056203」という数字を因数分解してください、と言われてすぐに解ける人はいるのでしょうか？答えは「1061×3823」ですが、電卓を使っても多くの人には難しいでしょう。しかし、逆に1061×3823という掛け算をするだけで電卓を使わなくても解けるでしょう。このように、掛け算は簡単だが、その逆の因数分解は難しいという性質を利用したRSA暗号の技術が、インターネットショッピングやマイナンバーカードの個人認証に使われています。こうした身近な場面で人知れず活躍している現代の暗号技術を、本書は高校2年生程度までの数学で理解できるようにわかりやすく解説しています。

インターネットで私たちが入力しているパスワードは本当に安全なのか？（第2章 ハッシュ関数）、暗号通貨ビットコインはどういう仕組みで動いているのか？（第4章 楕円曲線暗号）、ICチップの消費電力から暗号がバレてしまうって本当？（第5章 サイドチャネル攻撃）など、素朴な疑問の答えを本書で読み解いていくにつれ、私たちの秘密社会が極めて高度な技術によって守られていることが実感できるでしょう。

【化学コース】 杉山 雄樹

ふわふわの泉

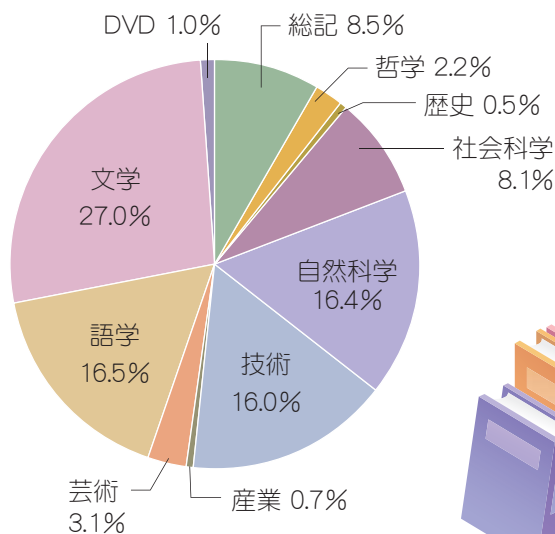
野尻抱介 著

「努力しないで生きること」。本書の主人公である浜松西高校化学部部長・浅倉泉の目標である。部員の廻とともに文化祭の出し物であるフーレン合成実験の際に、偶然に中身が真空であるシャボン玉のような物質を生み出した。この物質はモース硬度10、すなわちダイヤモンドと同等もしくはそれ以上の硬さを持ち、空気よりも軽く、膜厚1nmという驚異的な物質であった。泉たちはその物質を「ふわふわ」と名付け、新しい材料として様々なものを開発していく物語である。本書は、化学好きの女子高生から物語は始まるが、気づくとSFの展開になっているところや、「努力しないで生きること」ということがどのように関係しているのかが面白い。また、随所に化学系の専門用語や装置が登場しており、知っている人はクスクスとくるかもしれない。さらに、この物質は空想上のものではないこと、科学的な考察やある素材への展開もかなりリアリティがあり、実際に研究もされているものである。本書は非常にテンポよく描かれており大変読みやすく、少し時間が空いたときは是非にとっていただきたい。

図書館利用統計

平成29年度 分類別貸出冊数

分 類	貸出冊数
総 記	301
哲 学	78
歴 史	18
社会科学	288
自然科学	582
技 術	571
産 業	24
芸 術	110
語 学	588
文 学	962
D V D	37
合 計	3,559



平成29年度 分類別貸出ランキング第1位

総記	回数	書 名	著 者 名
	7	Pythonで学ぶディープラーニングの理論と実装	斎藤 康毅
哲学	回数	書 名	著 者 名
	5	ヤバい心理学：眠れなくなるほど面白い	神岡 真司
歴史	回数	書 名	著 者 名
	2	争点 日本の歴史 1 原始編	鈴木 公雄
社会科学	回数	書 名	著 者 名
	8	乙種4類危険物取扱者試験 平成27年版	資格出版
自然科学	回数	書 名	著 者 名
	25	編入数学徹底研究：大学編入試験対策	桜井 基晴

技術	回数	書 名	著 者 名
	22	工業英検 3 級対策	日本工業英語協会
産業	回数	書 名	著 者 名
	3	会社四季報業界地図 2017年版	東洋経済新報社
芸術	回数	書 名	著 者 名
	5	怖い絵	中野 京子
語学	回数	書 名	著 者 名
	49	TOEICテスト 新公式問題集 Vol.6	Educational Testing Service
文学	回数	書 名	著 者 名
	8	蜜蜂と遠雷	恩田 陸



図書館からのお知らせ

開館時間

- 平 日 9時～19時 (休業期間中は、9時～17時)
- 土曜日 11時～17時 (休業期間中は、休館)
- 日曜日・祝日 休館

★図書館は保護者の方、一般の方もご利用になれます。
貸出を希望される場合は、身分証明書(運転免許証など)をご持参ください。

貸出冊数 5冊まで (休業期間中は、10冊まで)

貸出期間 15日間 (休業期間中は、延長)

★館内資料の文献複写(著作権法の範囲内での有料複写)や、DVDコーナーもご利用いただけます。
★詳しくは図書館までお問い合わせください。

TEL 0884-23-7106 **E-mail** tosho@anan-nct.ac.jp

★ホームページにて、蔵書検索や利用案内、開館カレンダーなどもご利用いただけます。

URL http://www.anan-nct.ac.jp/facility_guide/library/



投 書 箱

図書館では、学生のみなさんのリクエストを受け付けています。
読みたい本や、学習や研究で使う本などがありましたら、閲覧室カウンターの投書箱へ投函してください。

平成30年度

後学期行事予定表

9月	26日(水) 後学期授業開始 30日(日) 入試説明会 (淡路会場)
10月	7日(日) 高専ロボコン2018四国地区大会 (高松) 10日(水) 学寮防災訓練 19日(金) 体育大会 20日(土) 入試説明会 (西部会場) 21日(日) 入試説明会 (徳島会場) 27日(土)・28日(日) 全国プログラミングコンテスト (アスティとくしま)
11月	10日(土)・11日(日) 蒼阿祭 (高専祭) 10日(土)・11日(日) 全国デザインコンペティション (釧路) 10日(土) 入試説明会 (阿南会場) 21日(水)～28日(水) 後学期中間試験 25日(日) 高専ロボコン2018全国大会 (両国国技館)

12月	3日(月) 専攻科1年後学期授業開始 8日(土)・9日(日) 企業研究セミナー 12日(木) 学寮冬季寮祭 15日(土)・16日(日) 四国地区高専総合文化祭 (香川詫間) 20日(木) 学寮大掃除 (予定) 22日(土)・23日(日) 保護者懇談会 27日(木) 閉寮
1月	7日(月) 開寮 (予定) 7日(月) 専攻科1年授業 7日(月)～9日(水) 平成31年度本科推薦選抜願書受付 8日(火) 授業開始、学生会立会演説会 18日(金) 専攻科インターンシップ報告会 20日(日) 平成31年度本科推薦による入学者選抜検査 21日(月)～25日(金) 平成31年度入寮願受付 30日(水)～2月1日(金) 平成31年度本科学力選抜願書受付
2月	4日(月) 専攻科特別研究発表 5日(火)～12日(火) 学年末試験 17日(日) 平成31年度本科入学者選抜学力検査 28日(木) 卒業研究発表
3月	4日(月) 終業式・学寮大掃除 15日(金) 卒業式・修了式 18日(日) 閉寮

学生相談室から

「元気の源」

学生相談室長 藤井 浩美 (一般教養)

スマートフォンの普及とともに、最近では様々なアプリが開発され、スケジュール管理もメモを取ることも、書き留めるのではなく、打ち込むことで済ませていませんか？

デジタル時代の今だからこそ、書き留める習慣を大事にしたいと思い、お気に入りのペンやノートを準備して、意識的に日々の気づきをノートに記すことを心がけています。そんな私のノートの中身は、行ってみたいレストランの情報、心に響いた言葉・歌詞、思いついたアイデア、読んでみたい本、理解不能な新語・流行語(あとで調べるつもりだったのか?)、などが書き込まれた、いわゆる雑記帳です。

ただ、この雑記帳。一見すると何のまとまりもないメモですが、数ヶ月前、数年前に書き留めたことを読み返してみると、思わぬ出会いがあります。過去の自分との遭遇です。「こんなことを考えていたのか」「こんなことに悩んでいたのか」と、懐かしく振り返ることができます。時に、過去の自分と対話しているような何ともいえない不思議な気分になることさえあります。

もちろん、アプリをつかって同じように記録は残せるかもしれません。が、ノートはめくるものです。重みが違います。1ページ1ページ、ぱらぱらとページをめくっていると、なぜか少し元気が沸いてきます。



《学校カウンセラー》

学生相談室には、精神科医、臨床心理士、スクールソーシャルワーカー(SSW)が在室しています。学校カウンセラーによる相談の受付時間は、本校のウェブサイトやリーフレット(GS利用案内)で確認してください。

学校カウンセラーのほかに、学生相談室委員に相談することもできます。特に時間の制限はありません。各教員室および保健室を訪ねてください。

《学生相談室の利用について》

学生相談室は、図書館棟1階にあります。入り口に「OPEN」とあれば、カウンセラーが在室、面談O.K.です。ノックして入ってください。また、面談の予約をすることもできます。学生相談室に直接電話するか(0884-23-7218)、保健室(0884-23-7135)に電話して下さい。

《「KOSEN健康相談室」の案内》

国立高等専門学校機構の取り組みの一つとして、「KOSEN健康相談室」が開設されています。「KOSEN健康相談室」の利用対象者は、学生本人およびその家族です。必要に応じて、ご利用下さい。

0120-50-24-12 (24時間365日受付・無料)。

保護者からの ご意見・ご要望等コーナー

「意見箱」が設置されています。学校へのご意見・ご要望等がありましたら、下記宛までお寄せください。

お寄せいただいたご意見・ご要望は、今後の学校運営等に役立てたいと思います。

宛先

〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木265

阿南工業高等専門学校 学生係

電話 (0884) 23-7130

E-mail: gakusei@anan-nct.ac.jp

編集後記

高専便り116号をお送りします。

今年度も、テニス部・水泳部・陸上部を筆頭に多くのクラブ活動が活躍しました。

また、10月に開催される全国プログラミングコンテストに向けて、阿南高専一丸となって準備を進めています。

紙面の関係ですべてをご紹介できませんが、ホームページにて随時学生の活躍を紹介しておりますので、是非ご覧ください。

<https://www.anan-nct.ac.jp/>

平成30年度 広報情報室高専便り編集委員

城本 春佳 (一般教養)

中島 一 (一般教養)

山田耕太郎 (一般教養)

大北 裕司 (機械コース)

安野恵実子 (情報コース)